

九大広報

KYUSHU UNIVERSITY CAMPUS MAGAZINE

Vol.
115
2019 Jul.



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

巻頭企画
CloseUp!
九大

〔特集1〕 研究編

九州大学発の研究成果を一部ご紹介します。

〔特集2〕 先生編

九州大学 特別サイト「先生の森」から個性豊かな先生たちをご紹介します!

改元
特別企画

「令和」を語る。

九大の視点から3人の先生に令和についてのお話を伺いました。

住所変更ほか、発送についてのお問い合わせは、封筒記載の連絡先へお願いします。

九州大学広報室

TEL:092-802-2130

E-mail:koho@jimukyushu-u.ac.jp

九州大学学生後援会

TEL:092-802-5968

E-mail:gagkougouenkaik@jimukyushu-u.ac.jp

九州大学同窓会連合会

TEL:092-802-2158

E-mail:sycdo-rengo@jimukyushu-u.ac.jp

新時代を迎えて。

伊都キャンパスのイースト・ゾーンに位置し、国内最大規模の図書館として2018年に全面開館した九州大学中央図書館。そんな学内の学習・教育・研究活動を支える知の拠点に、こちらも2018年にスタートした共創学部が学生及び留学生が集まってくれました。

共創学部は、複雑で多様な地球規模の課題に直面する中で、文系・理系といった既存の学問分野の枠を超え、得られた知を組み合わせるとともに、高度なコミュニケーション能力を身に付けて人類的課題を解決することのできる新たな人材を育成するために設置されました。

新たな環境で日々学ぶ学生たちの爽やかな笑顔は、開放感あふれる真新しい空間によく映え、彼らの「明るい未来」を象徴しているかのようです。



CONTENTS

九大学生の新たな歩み	02	平成30年度 学位記授与式 平成31年度 入学式
巻頭企画	03	Close Up! 九大 [特集1] 研究編 [特集2] 先生編
改元特別企画	09	「令和」を語る。
躍動	11	女子バレーボール部
世界から九大へ 九大から世界へ	13	留学生体験記 世界のキャンパス
記者会見レポート	15	●「君は九州から政治を変えたいか？」九大学生が企画 ●SDGsデザインコンテスト 世界の学生から募集 ●ネーミングライツ、体育館や学生サロン等に募集拡大 ●“空飛ぶ車”や“電動航空機”の開発へ!!
KYUDAI Topics	19	さまざまな話題をご紹介します / 受賞のお知らせ
九州大学基金	34	23
同窓会だより	27	
Museum Report	29	「森本桂コレクションとゾウムシ学」
Information	30	

平成30年度 学位記授与式を挙

2019年3月20日(水)、伊都キャンパスの椎木講堂において、平成30年度学位記授与式が開催されました。

九大フィルハーモニーオーケストラによる祝賀演奏の後に始まった学位記授与式では、久保総長から11の学部および21世紀プログラムの総代にそれぞれ学位記が授与され、2,538名が卒業しました。

久保総長は告辞で、「本学の卒業生として、誇りと夢を持って今後の未来を切り開き、グローバル社会を力強く牽引するリーダーとして大成されることを期待します。」とはなむけの言葉を贈り、卒業生を代表して、文学部の桑原妃美子さんが「社会が抱える多くの課題の中で、どのような状況にあつても、問題の本質を見極めるとともに、理想的な状態とは何であるのか、ひとりひとりが模索し社会の発展に貢献していくことが卒業生となる私たちの使命であると考えます。」と答辞を述べました。

また、午後からは大学院の学位記授与式を開催し、修士学位記、専門職学位記、博士學位記が各総代に授与され、2,231名が大学院を修了しました。久保総長は告示において、「大学院時代に培った力をいかに発揮し、未来を切り開く若者として世界で活躍していただくことを願っております。」とはなむけの言葉を贈り、修了生を代表して、法学府の石田侑矢さんが「先人たちが、そして子々孫々に恥じぬ世界を形成し、それをさらに発展させることができるよう、この伝統ある九州大学で学位を取得したことの矜持を持ち、これからも層精進する所存です。」と答辞を述べました。

未来を担う4769名が新たな一歩を踏み出す



九大学生の 新たな歩 み



総勢5119名の希望に満ちた九大学生・院生が誕生

平成31年度 入学式を挙

2019年4月3日(水)、伊都キャンパスの椎木講堂において平成31年度入学式を挙行し、12学部の2,638名が新たに九大学生となりました。

九大フィルハーモニーオーケストラによる祝賀演奏の後に始まった入学式では、久保総長が新入生に向けて、「広い学問への興味、国際的視野と活動、政治への関心の三つの重要性について述べ、「四つのC、Challenge、Change、Creation、Collaboration」の精神で新しい時代を切り拓いていってください。」と挨拶しました。

続いて、新入生総代の大塚千聖さん(教育学部)が、「私達は本学教育の趣旨を体して、自立の精神を重んじ、学術を極めるとともに、自ら人格の陶冶に努め、社会の期待に沿うことを誓います」と誓詞を朗読しました。

また、来賓として、東京同窓会会長で、元最高裁判所判事 櫻井龍子氏から、大学時代は「社会や人間への理解を深めることを重ねながら、自分は何者であるのか、何者になりたのか」という設問に対する答えが次第に頭の中で形作られていき、やがて確信を持って生きているような自分、自己を確立できる道に「つながっていく」ための大切な「助走」を行う期間であるとお言葉とともに、「これからの日本を背負っていくのは自分たちだ」という自覚を強く持ち、確信をもって社会で活躍できる人間になるための助走を、今日からしっかりと始めていってください。」と新入生を激励いただきました。

同日午前に行われた大学院の入学式では、修士課程1,786名、博士(後期)課程554名、専門職学位課程141名、合計2,481名が入学しました。総代として博士(後期)課程の小園栄作さん(法務学府)が誓詞を朗読しました。

九大生まれの新品種 ブドウ!

九州大学農学部附属農場での長年の研究により育成されたブドウの新品種「BKシードレス」は、2011年に農林水産省に品種登録されました。

研究は1990年、当時、附属農場で研究を行っていた若菜先生と比良松先生により、マスカットベリーAと巨峰との交配からスタート。酒井かおり准教授は、優れた性質をもつBKシードレスを「どうか世の中に送り出したい!」と思い、農学研究院および有体物管理センターの研究者とともに、2005年から栽培技術の確立と普及に向けた研究を

始めました。

BKシードレスは大粒の種子なしブドウで、極上の食味と食感を持つことが特徴です。九州大学の研究グループの指導のもと、2011年からブドウ生産者による現地試験栽培が始まり、2013年からは協力農家が本格的に出荷を開始。BKシードレスの高品質果実はブランド名「みつしずく」として福岡市内の百貨店で販売されています。

「今後も、もっと多くの方に味わっていただけるように取り組んでいきたい」と語る酒井准教授。皆さんも、酒井准教授の熱い思いがこもった、とっても甘いBKシードレスの味わいを、ぜひ楽しんでみてください。



大きく実ったBKシードレス

篠栗農場に広がるブドウ畑



九州大学 大学院農学研究院

酒井 かおり 准教授

九州大学大学院修士課程修了後、助教を経て2019年に准教授に就任。農学研究院において、果樹を中心に園芸作物の遺伝育種に関する研究を行っている。



BKシードレスの大ぶりの実を使ったレーズン

スマート農業!

—植物情報の「見える化」で拓く農業フロンティア—

スマート農業という言葉が、皆さんも一度は耳にしたことがあるかもしれません。日本では現在、国を挙げてスマート農業の実現に向けた取り組みが行われ

ています。九州大学でも安武准教授らのグループ(北野教授・岡安准教授・尾崎教授との共同研究)が独自のアプローチでスマート農業に関する研究を

行っています。

「思い通りに作物を育てる」これはほぼ全ての生産者が思い描く理想の姿。その実現のため、植物にとって良い環境を創り出す研究が日夜行われてきました。しかし、植物自身の特性や個性(生理情報)も大きく関係してくるため、周辺環境を整えるだけで「思い通りに作物を育てる」ことはとても困難です。

そこで環境情報だけではなく、植物の生理情報を「見える化」できればもっと理想に近づけるのでは?というのが安武准教授のプロジェクトです。光合成や果実への栄養の流入といった生産者が喉から手が出るほど欲しい情報を、最新のセンシング技術・解析技術・人工知能(AI)を使って「見える化」。収穫量アップや省エネ化など、農業が抱える課題をスマートに解決できる可能性を持っています!

そんな新たな試みに挑戦し続けている安武准教授は、九大を目指す人々に向け「新しいモノを生み出すのに大事なものは「合理と情熱」。合理的な知識・技術は大学で学べます。そして最も大事なものは皆さんの情熱です!」と語ります。



富士通との共同プロジェクトのために設置された「九大スマートハウス SACITO」(サーキット)



「見える化」のためのセンシングの様子

九州大学 大学院農学研究院 安武 大輔 准教授

九州大学卒業後、高知大学の准教授を経て、2015年に九州大学准教授に就任。植物生産システムにおける物質輸送プロセスの動態評価と最適化が主な研究テーマ。



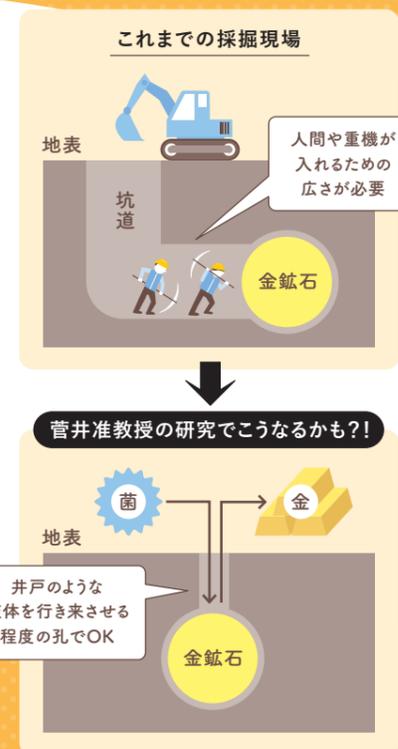
菌が金を採掘!

アクセサリや電子機器などにも使われている、貴重な金属「金」。現在、世界的に浅い地層の金が枯渇しつつある中、数千メートルもの深い地下坑道にも人が入り、落盤などの危険の中で金が採掘されています。

これを一変させる可能性を秘めているのが、天然ガス田に生息する珍しい微生物の存在。この菌は、その生命活動の中で「ヨウ素」を発生させてしまうため、天然ガスを生産する井戸や施設を腐食させてしまう「厄介者」とされていました。しかし菅井准教授は、この「ヨウ素」が金を溶かすことに着目。この菌を金鉱石と一緒に特殊な液体の中で培養したところ、液体に溶けにくい鉱石の中の金を全て液体中に溶解させることに成功しました!これを応用すれば、将来的には人に代わって「菌」が「金」を採掘してくれる未来がくるかもしれません。

「専門の石油・天然ガス研究の過程で、この菌の存在は知っていました。この菌が生成するヨウ素はパイプラインなどを腐食させるため、厄介者扱いされていますが、むしろその能力を積極

的に活用できないかと考えこの研究を着想しました。」と語る菅井准教授。まさに、逆転の発想から生まれた研究成果です。



デンプンを含む培地でこの菌を培養すると、菌の周囲が紫色になる。菌がヨウ素を発生させていることが分かる(ヨウ素デンプン反応)



金鉱石のサンプル。この中にわずかではあるが金が含まれている

九州大学 大学院工学研究院 菅井 裕一 准教授

東北大学と秋田大学を経て、2014年に九州大学准教授に就任。地下に棲息する微生物を利用した環境に優しい地下資源開発手法の確立を目的とした研究を主に進めている。



[特集2] 先生編



九州大学の個性豊かな先生たちをご紹介します!

「先生の森」は、九州大学のホームページで、九州大学の個性豊かな先生たちを親しみやすいデザインでご紹介しているサイトです。その中から一部の先生をピックアップしてご紹介します!

より詳しい情報は、各先生のQRコードからチェック!

常に最前線を走り続け、今、そして未来の科学のために貢献したい。

新元素113番を発見、日本発の新元素認定と命名というアジア初の偉業を達成。周期表に「ニホニウム(nihonium)」の名を刻み込み、世界から注目を集める元素研究のフロントランナー。

研究科目の「魅力」はココ!

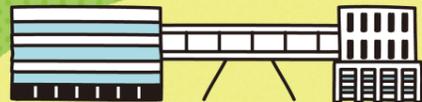
苦労の末見つけた新元素が、世界共通で昔から引き継いできた周期表に載り、未来永劫受け継がれていく。世界で初めて発見した時のワクワク感はたまらない!科学の基礎は地球で唯一の知的生命である人間が築いてきたもので、周期表は人類の財産そのもの。その表の一席を日本人の手で埋める喜び、誇りは計り知れません。

森田 浩介

Kosuke Morita
理学研究院 教授



詳しくは
WEBで!



九大ゲートブリッジ



レンズ風車



椎木講堂

九州大学

九州大学銘板



知足(知足院) 美加子

Mikako Tomotari

芸術工学研究院
コンテンツ・クリエイティブデザイン部門
芸術講座 准教授

詳しくは
WEBで!



アートが人と人をつなぐ。より幸せな世界を創造したい。

日本三大修験山の一つ、英彦山の山伏を先祖に持つ。「知足院」は明治の廃仏毀釈以前の姓。自然への畏敬の念から着想を得た彫刻作品づくり、アート・プロジェクト発足、文化財研究等、多方面で芸術活動に携わる。

研究科目の「魅力」はココ!

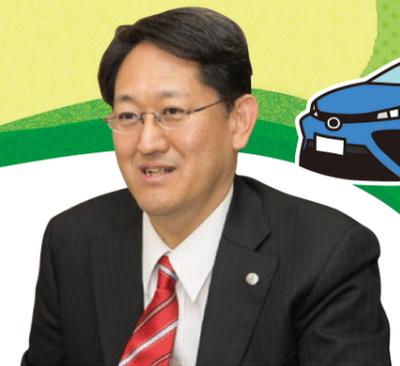
芸術とは何か?とは、人間とは何か?という問いに近く、芸術こそ私たちが人間たらしめる何かを含む、愛を生み出す学問です。芸術は下手でも心に訴え「感動」や「コンセプト」という軸がなければ作品自体が成立しない。私は人間のコアな部分に寄り添うアートの可能性、新しい世界を創る喜びと面白さを常々感じています。

“燃やさないエネルギー”で社会を変えていきたい。

持ち前のユニークさと好奇心、揺るぎない実績により様々なプロジェクトを遂行、関連施設のセンター長も務める。水素エネルギーの研究を牽引する同大学のまさに顔であり、日本・世界の未来を担う主要人物である。

研究科目の「魅力」はココ!

研究の魅力は自分の信念に沿ってやれるところ。大学では0から1を生み出すはじめの一步ができます。その1から10、100にしていくのは企業や地域社会。時代の節目に社会を変える革新を行ってきた九州の地で「燃やす社会」から「燃やさない社会」へのエネルギー革命を先導し、地域での成功モデルを九州・福岡で作りたいですね。



佐々木 一成 Kazunari Sasaki

次世代燃料電池産学連携研究センター長
水素エネルギー国際研究センター長
カーボンニュートラル・エネルギー
国際研究所・工学研究院 教授
九州大学 主幹教授

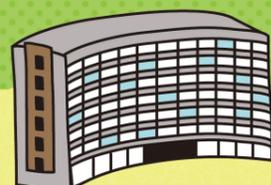
詳しくは
WEBで!



水素
ステーション

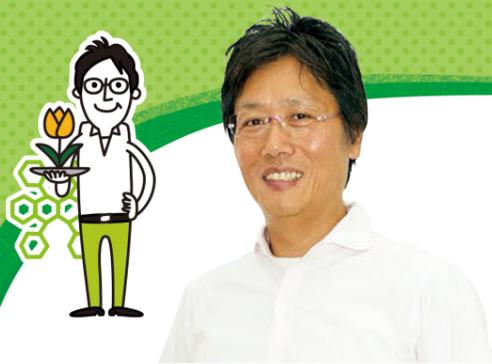


フライパン広場



楠のき





安達 千波矢 Chihaya Adachi

工学研究院 教授
最先端有機光エレクトロニクス
研究センター長
リーディングプログラム
プログラムコーディネーター
九州大学 主幹教授



詳しくは
WEBで!

ゼロを1にする研究で、 新しいサイエンスの扉を開きたい。

“できない技術はない”を信条に、第三世代有機EL発光材料を世界に先がけて開発した有機エレクトロニクス界のトップランナー。その素顔は大のコーヒー党で、出張先で珍しい石けんをお土産に買うのが密かな楽しみ。

研究科目の「魅力」はココ!

有機物には無限の分子設計の可能性があります。レゴブロックで家や車などを組み立てるようにうまく設計できればユニークな新機能が見つかり、それがデバイスなど実際に動くものに繋がることが魅力です。サイエンスの世界は無限で研究に終わりがわからないから面白い。大学ではゼロを1にするプロセスに集中できます。



新中央図書館



日下部 宜宏
Takahiro Kusakabe

農学研究院資源生物科学部門
昆虫ゲノム科学研究室 教授

昆虫ゲノム科学は、人体を、世界を救う。 カイコの可能性が新産業を生み出す!

アジアでもトップクラス、100年の歴史を持つ九州大学昆虫ゲノム科学分野。その中心となる蚕学研究の重鎮。人々の生命に有用な蚕の遺伝子組み換えタンパク質を生産、常に複数のプロジェクトに並行して挑み続けるTHE“カイコ博士”。

研究科目の「魅力」はココ!

研究者としての魅力は、世界で誰も知らなかったことを、最初に知ることができるという点です。自分の好奇心が発見となり、いずれは世界に影響を及ぼすモノとなる。ゼロからイチをつくる、発見することは、どんなに時間がかかってもやめられない面白さです。



詳しくは
WEBで!

医学研究の面白さと深さを 伝え続けたい。

開講100年超の歴史を誇る“総合内科室”の重鎮で、がん治療の最前線と最深部を見つめ続ける世界レベルの研究者。特に、造血器に発生するがん幹細胞の先駆的研究で知られる。

研究科目の「魅力」はココ!

病気は、神様が用意してくれた生命科学の知識を得る重要な機会です。得られた研究成果を基に最終的に病態へ介入して正常化させる、それこそが医学研究の最大の目的であり魅力といえます。ヒトという生命体の成り立ちを知ることとは病気の征服のみならずヒトの存在や運命に繋がる、という事実も大きなやりがいです。



赤司 浩一

Koichi Akashi

九州大学病院 病院長
九州大学 主幹教授
医学研究院 教授



詳しくは
WEBで!

掲載している先生方
以外にも多くの先生方を
ホームページで
紹介しています。



詳しくはこちら! <https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/professor/>

また、「先生の森」では「森の映画館」として動画でも多くの先生方を紹介しています。

詳しくはこちら! <http://rpv.icer.kyushu-u.ac.jp>



利休
釜掛の松



亭亭舎



**エレン・ヴァン＝
フーテム**

Ellen Van Goethem

人文科学研究院 哲学部門 准教授



詳しくは
WEBで!

日本古代史の面白さを 世界中に広めたい。

マルチリンガルで日本語の得意分野は漢文。現在、同大学院で日本唯一の博士・修士課程「広人文学コース」を共同担当。外国人の視点を大切にしながら古代史の謎を紐解く、日本人以上に古代日本を知る若手ホープ。

研究科目の「魅力」はココ!

日本人にとって文化として身体に入り込んでいることは、外国人の私から見たらWHY?の嵐。日本人でも外国人でも研究対象は同じものですが、外から見ることで発見も多いように思えます。ヨーロッパ文化と比較しつつ、アジアの歴史をかながみて、幅広い視点でWHY?を追求していけるのが、何よりも研究の面白みですね。

初春令月 氣淑風和 梅披鏡前 之粉 蘭薰珮後之香

初春の令月にして 氣淑く風和ぎ 梅は鏡前の粉を披き 蘭は珮後の香を薫らす

～万葉集 卷五「梅花の歌三十二首」序文より抜粋～

「令和」を語る。

元号が「平成」から「令和」と変わりお祝いムードの日本。
令和の典拠となった万葉集の歌は
地元・福岡で詠まれたものと言われています。
そこで、九大の視点から3人の先生に令和についてのお話を伺いました。



九州大学 大学院 人文科学大学院

静永 健 教授

九州大学文学研究科卒業後、久留米大学の専任講師等を経て、2015年に九州大学教授に就任。中国の古代文学、特に唐時代の文学を研究している。

新元号が発表され、日本中がお祝いの空気に包まれています。元号の制度は中国由来のものです。中国では既に廃止されています。現代まで残っているのは、まさに言葉の大切にする、言葉のくに、日本ならではの感覚を感じ

漢字の成り立ちからわかる「令和」の真の意味とは。

新元号が発表され、日本中がお祝いの空気に包まれています。元号の制度は中国由来のものです。中国では既に廃止されています。現代まで残っているのは、まさに言葉の大切にする、言葉のくに、日本ならではの感覚を感じ

このように考えると、令和は両方とも信仰とともに生きてきた古代人の素朴でなごやかな生活



上/郭沫若著『两周金文辞大系攷』(1935年)より
下/容庚著『金文編』(1959年)より



九州大学 大学院 理学研究院

矢原 徹一 教授

京都大学卒業後、東京大学の理学部助手・講師・助教授などを経て、1994年に九州大学教授に就任。2000年に同大学で持続可能な社会のための決断科学センター長となる。

令和の典拠である万葉集の歌は、私達の地元・福岡の太宰府で開かれた梅花の宴で詠まれました。その序文に登場する「梅」と「蘭」という2種類の植物について、植物学の観点から、当時の歌人たちがどのような景色を見て



咲き誇る梅花



フジバカマの花

現代を生きる私たちも、万葉の歌人に習い森羅万象に関心を持ち、植物に触れ日々の変化を感じられるようになって、きつと世界が違って見えてくるはず

万葉の歌人が詠嘆した「梅」と「蘭」。

歌を詠んでいたのかを考えてみましょう。

梅は中国原産の植物で、当時の日本ではとても珍しいものでした。しかしながら中国の風流な花として知識人の間ではよく知られており、歌人は遠い中国に思いを馳せ、憧れも込めて梅の歌を詠んでいたのだと想像できます。



九州大学 大学院 人文科学大学院

坂上 康俊 教授

東京大学卒業後、2000年に九州大学教授に就任。木簡学会委員、九州史学研究会会長などを歴任。著書に『摂関政治と地方社会』『平城京の時代』などがある。

元号が「令和」に変わり、そのゆかりの地とされる太宰府市に今大きな関心が寄せられています。令和誕生の舞台ともいえる「梅花の宴」が催された、万葉の時代の太宰府とは、どのような役所だったのでしょうか。

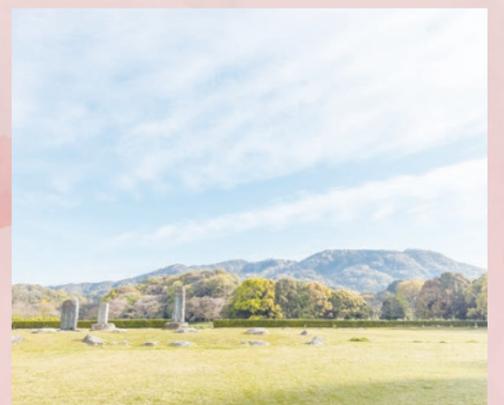
「梅花の宴」が催された当時の太宰府の姿とは。

当時の太宰府は、九州全体の内政を統括し、それを基盤として朝鮮半島や中国との外交の第一線も担う日本の重要拠点でした。そのため太宰府には、都から派遣された九州諸国の国司たちが、しばしば集まりました。国司たちの中には、筑前国の守(長官)の山上憶良をはじめとして、教養のある知識人が大勢いたと考えられます。そのような太宰府の長官・大宰師として赴任してきたのが、「梅花の宴」を開いたとされる大伴旅人。彼は文武に優れ、

歌を詠んでいたのかを考えてみましょう。梅は中国原産の植物で、当時の日本ではとても珍しいものでした。しかしながら中国の風流な花として知識人の間ではよく知られており、歌人は遠い中国に思いを馳せ、憧れも込めて梅の歌を詠んでいたのだと想像できます。実は梅が咲く時期には、いわゆる蘭

舞台が設けられたのではないのでしょうか。

このように「令和」という元号は、大宰府と非常に関係が深いことが分かります。皆さんにも、大宰府があった福岡は、遺跡に恵まれた土地であるということをは是非知っていただきたいと思



大伴旅人が政を行ったとされる大宰府政庁跡(都府楼跡)

●アイスホッケー	2018/12/9日～12/15土
●スキー	2018/12/28金～2019/1/3木
●航空	3/1金～3/6水
●バスケットボール(男女)	6/24月～6/29土
●硬式テニス(男女)	6/28金～6/30日
●少林寺拳法	6/30日
●柔道	7/6土・7/7日
●女子ラクロス	7/13土～7/15月
●空手(男女)	7/14日
●剣道(男女)	7/14日
●ヨット	7/14日・7/15月
●競泳(男女)	7/20土・7/21日
●陸上競技(男女)	8/3土・8/4日
●準硬式野球	8/8木～8/10土
●バドミントン(男女)	8/10土～8/15木
●陸上ホッケー	8/10土～8/17土
●バレーボール(男女)	8/13火～8/17土
●硬式野球	8/14水～8/16金
●応援団(演舞会)	8/14水・8/17土
●ハンドボール	8/16金～8/22木
●水球	8/17土・8/18日
●フェンシング	8/17土・8/18日
●弓道(男女)	8/22木～8/25日
●ゴルフ	8/29木～8/30金
●アーチェリー	9/2月・9/3火
●ソフトテニス(男女)	9/3火～9/5木
●男子ラクロス	9/3火～9/5木
●体操	9/6金～9/8日
●馬術	9/7土・9/8日
●相撲	9/8日
●硬式ソフトボール	9/10火～9/12木
●自動車	9/13金・9/15日
●卓球(男女)	9/16月～9/20金

熱き戦いの火ぶたが 今、切って落とされる

いざ行かん、戦いの地へ…。今年はいよいよ、九州大学主催の七大会が開催されます。今回の躍動は、七大会、そして2連覇を狙う女子バレーボール部に迫ります。



女子バレーボール部
ヨロコビ
足止佳
Move On!
躍動

学生スタッフが取材・執筆を担当する企画「躍動」。タイトルは取材に協力した各サークルの代表者が書いています。個性あふれる手書き文字に、サークル活動への熱意を感じます。

第58回七大会公式 マスコットキャラクターです！



- 名前: Qボー ●性別: オス
- 誕生日: 5/8
- 職業: 九大体育総務委員会 広報局員
- 身長: 1.7m ●体重: 0.58t
- 性格: 気性が荒い
- チャームポイント: 牙! 触るな。危険!
- 出身地: 伊都 ●好物: 豚骨ラーメン
- 座右銘: 猪突猛進! ●得意技: 穴掘り

九大生がデザインしたQボーのLINEスタンプも好評発売中です!
<https://line.me/S/sticker/7165898>



この記事は広報室学生スタッフが制作しました。

- (左から) 陣内 未来 (教育学部2年)
坂元 渚 (農学部3年)
小野 聖文 (農学部3年)
財前 祐里香 (21世紀プログラム3年)



Facebookページ <https://www.facebook.com/KyushuUniv.Student/>

他七大会との交流はありますか。
七大会では、自大学の試合がないときに他大学の試合の応援に行きます。プライベートで遊ぶこともあります。また、過去には大阪大学との合同練習をしてきたこともあります。
九大独自の応援方法はありませんか。
個人ごとに点を決めたときの掛け声があり、コート外にいる人もかけよって声援を送ります。個人の掛け声は選手の名前や出身地になんか多いのが特徴です。

高校生や読者の方にメッセージをお願いします。
今年は福岡で開催されるので、色々な方に来ていただきたいです。また七大会はチームの一体感がいつもより感じられる大会なので見る方も楽しいと思います。みなさんの応援お待ちしています！私たちが2連覇を達成します！！

取材協力 3年 岡林美宇さん
もちろん全勝優勝です！

普段の部活で楽しいことや部の魅力は何ですか。
部員同士の仲が良く、コーチや監督も大学院生の先輩なので日々の練習が楽しいです。また、勝つために練習をしています。また、楽しくプレーすることをモットーにしているので、みんなが「バレーボール」という競技を楽しんでいるところが魅力だと思います。

七大会に向けてのモチベーションを教えてください。
今大会で4年生が引退なので、集大成となります。3年生以下は4年生を気持ちよく送り出すために「絶対に優勝する」という強い意志がモチベーションになっていきます。また個人賞があるので、個々でも賞を取ることを目指してがんばっています。

Focus

「福岡県大学バレーボール女子リーグ」
4月下旬に福岡県内で2部に分かれて戦う大会です。一部昇格を目指しています。
「九州大学春季・秋季バレーボール女子リーグ」
5月と10月に開催され、九州内の大学が5部に分かれて戦います。
「全国七大学総合体育大会バレーボール大会」
今年の日程は8/13～8/17で、場所は福岡市民体育館と福岡市総合体育館です。
「福岡地区6大学定期戦」
12月にある大会です。福岡地区で毎年、6チーム間で戦います。

Data

- ◎部員数: 17名
- ◎活動場所: 総合体育館サブアリーナ・小体育館
- ◎活動日: 火・木・土
- ◎問い合わせ先
メール: kyushu.univ.volley@gmail.com
Twitter: @kyudai_volley



応援よろしくお願ひします!



右/オランダの文化や社会についての授業風景。左/休日に友人と隣町ハーグで食事。



21世紀プログラム
4年
廣松 航介
(ひろまつ こうすけ)



留学国:オランダ
留学先:ライデン大学

世界から九大へ



多様な文化が共生し、あらゆることに寛容なオランダで充実した時間を送っています。

私はオランダのライデン大学で約1年間、自転車に関する都市デザインについて学んでいます。自転車所有率世界一のオランダではどこへ行くにもみんな自転車、自転車専用レーンや自転車専用の信号機までもが整備されています。自転車研究の他に、この留学で文理両方の視点から知見を広げたいと思い、持続可能な開発やオランダの歴史・文化に関する授業を受講しました。留学生は英語かオランダ語で行われる様々な分野の授業を受講することが出来ます。授業のスタイルはレクチャーだけでなく、ディスカッションやプレゼンテーションなど主体的に授業に参加できる機会が多く、世界でもトップレベルに英語能力が高いオランダ人学生との交流で語学も鍛えられます。

ライデン大学はオランダ

University Information

ライデン大学

ライデン大学は1575年に創立され、今年で444周年を迎えるオランダ最古の大学です。現在の首相や国王を始め、アインシュタインなど著名な研究者やノーベル賞受賞者が数多く学んでいました。文理7つの学部を持ち、ライデンとハーグ、2箇所のキャンパスで29,500人以上の学生が所属しています。また、120もの国々から留学生が集まるなど国際色豊かなことも特徴としてあげられます。日本学科で学ぶオランダ人学生との交流の機会も多々あり、オランダに関する研究に協力してもらうことも出来ます。留学生向けの授業の多くは英語で行われますが、オランダ語の授業を受けることも可能です。キャンパスへはライデンに住んでいれば自転車で通学でき、ハーグからも鉄道で15分程です。図書館や建物も新しく、ライデンは学生の街なので快適に生活できます。

多様な文化が共生し、あらゆることに寛容なオランダ社会での生活は刺激に満ちています。また、長い歴史を持ち、落ち着いた雰囲気と美しい街並みのライデンでの生活は勉強する上で最適な環境であり、充実した時間を送っています。

留学生のこはん事情

ここは、文系キャンパスのカフェテリア。パンやサラダ、温かいスープなども食べられます。



My Favorite!

出身国:パレスチナ

Alaa M.R. Allahhamさん
(アラア・アラハム) (右)
生物資源環境科学府 修士2年生
日本と母国の違いを「すべてが違う。食や人との付き合い方などあれをとっても何一つ同じものはない。違う国に来たというより、違う惑星に来たような感じですよ!」と語る、兄のアラーさん。

Raya M.R. Allahhamさん
(ラヤ・アラハム) (左)
留学生センター 日本語研修生(2019年4月入学)
「カズオ・イシグロが日本のことを書いた作品は、イギリス人の視点で書かれているのが日本人の視点で書かれているのか、ほかの日本人作家の作品と比べて探ってみよう」と語る、妹のラヤさん。



おにぎりとお味噌汁づくり

日本語研修生のみんでおにぎりとお味噌汁の作り方を学びました。

Q 九大を選んだ理由は?

アラア:自分の将来のために一番いい大学だと思ったから。僕にとっては、最高に良い教育を受けることができる大学だと思います。九大は、日本でトップクラスの大学の一つです。特に僕の専門分野バイオテクノロジー(分子生物化学)の分野ではそうです。また、九大のインターナショナルプログラムは多岐にわたり、コースの内容を見ただけでも他の大学と比べ大変充実しています。ラヤ:九大では日本を英語で学べるのが魅力。また、プログラムの内容がとても興味深く、実際に、私の学びたいものすべてが学べるといったからです。

Q 留学のきっかけは?

アラア:自分の性格や人格形成、また趣味を広げ勉強に集中するとてもいい機会だと思うからです。留学は新しい言語と文化に触れるいい機会。僕は新しい言語と文化を学ぶことに大変興味があり、その言語を使う国に移り住む方が早く習得することができると思います。ラヤ:高校生の頃から留学したいと思っていました。海外で勉強して、自分の視野を広げたい、いろんな文化や食べ物、人々と出会いたいと思っていました。特に、文学を勉強しているので、他の世界を見ることで、より深く文学を理解することができるのではないかと思います。

Q 九大生の印象は?

アラア:いつもにこやかで、何か手を貸してほしいと頼んだ際も、いつも快く対応してくれます。また、学生は大学の教師陣を「先生」と呼んで敬い、礼儀正しく接しています。僕は、そんな学生の振る舞いととても気に入っています。また、日本語を勉強するのも手伝ってくれます。博多弁や大阪弁とかも教えてくれます。例えば「おらんかった」とか「とっとと」とか方言の意味は辞書では調べられないでしょ?周りにサポートしてくれる人がたくさんいてラッキーだと思います!ラヤ:いつも大変やさしいです。困った時や必要な時は、やさしく手を差し伸べてくれます。

Q 留学後の進路は?

アラア:研究を続けたいです。将来は何かやり遂げることができたらと思います。説明は難しいのですが、僕はどんな人にも世の中を変えることができる機会が巡ってくると思っています。その際に、十分な知識が身につければ、世の中をさらによくすることができると思います。ラヤ:ほかの国の文学や文化的な交流、またコミュニケーションの違いといった勉強をしたいと思っています。ゆくゆくは母国に戻って、大学で日本をはじめいろんな国との文化の違い、日本を含め様々な国で得た知識を教え、母国といろいろな国との架け橋になれたらいいなと思っています。



お花見 日本でできる特別な体験、それはお花見です!



みんなでキャン

沢山の留学生・日本人とでキャンを楽しみました。日本語を練習しながら世界中に友達を作ることができました!



能古島 みんなで能古島へ行きました。たくさんの種類の花を楽しむことができる素敵な場所です。

これからの政治と教育を考える討論会!!
「君は九州から
政治を変えたいか？」
九大生が企画

21世紀プログラム3年
日本若者協議会事務局メンバー
田中 迅 たなかじん
工学部機械航空工学科3年
小澤翼 おさわつばき



記者会見の様子

日本若者協議会では若者の意見を政治に反映させる仕組み作りを第一の目的として、平成27年より様々なテーマで各政党に対する政策提言イベントを行ってきました。そして、令和元年5月21日(火)に令和となった初の全国キャンペーンの第一弾として、九州地方では初開催となるイベント「君は九州から政治を変えたいか？」を伊都キャンパスの椎木講堂で開催しました。

現在、日本は少子高齢化や格差社会など多くの問題を抱えており、今後の未来に対して大きな岐路の上に立っています。そのため、多くの団体や個人が政治に対して幅広い提言を行っていますが、しかし、日本には日本



イベント当日の様子

経済団体連合会(経団連)や労働組合、日本弁護士連合会(日弁連)のように経済や労働、法律の観点から提言を行う団体はあっても若者の観点から政治に対して提言を行う力を持った団体は存在しません。これは若者が政治に対して関心を持たず、問題意識を持っていないことが最大の原因であると考えられます。では、なぜ政治に関心を持っていないのでしょうか。その答えは「これまで教育を受ける中で政治について明確に理解する機会がなかったから」です。学校教育では学習指導要綱や教育基本法によって政治に関しては中立であることが求められま

す。その結果、授業では理論での政治やその歴史にしか触れることができません。したがって、日本若者協議会の役割は若者に今の政治を伝えて、その政治に対して積極的に参加する意欲を育てることにあると考えています。今回のイベントも九大生を中心とした学生に政治に対して関心を持ってもらいたいという思いが根底にあります。

日本若者協議会は、九州だけではなく全国の若者にも政治への関心を高めることができる団体になれるように、これからも活動を継続していきます。そして、若者が政治を変えていける機会を増やしていきます。

田中さんからの一言

私が日本若者協議会に参加した理由は未来の研究者の研究環境を向上させることにあります。過剰に加熱した選択と集中が進んだ今日の研究環境では自主的な研究ができないと感じました。そして、この問題は政治でしか解決できず、若者から積極的に変えていくしかないと思い、九州大学でこの催しを企画しました。学生の皆さんにこの催しを通じて政治に関心をもってもらえれば幸いです。

日本若者協議会 事務局
TEL:代表理事(室橋:直通)
080-1257-9576

九大主催で初開催!

SDGsデザインコンテスト
世界の学生から募集

芸術工学研究院教授 SDGsデザインユニット長
井上 滋樹 いのうえしげき



記者会見の様子



九州大学大学院芸術工学研究院SDGsデザインユニットは、国連が2030年までの達成を目指して掲げた持続可能な開発目標に対して、デザインの領域から貢献する組織として平成30年4月に設立され、「社会プラットフォーム」としての役割を担いながら、市民、NPO、産業界、海外の大学、国際機関等と連携し、社会課題をデザインによって解決する様々な事業を行ってきました。

昨年年度から実施してきた株式会社花王との協同プロジェクト「九大×花王SDGsクリエイティブコラボ」の成果として、インドにおける衛生観念の啓発・衛生環境の改善を目的とした絵本『The Great Indian Cleaning Mission!』(英語版・ヒンディ語版・マラデー語版)を、平成31年3月にインド・ムンバイの貧困地域にある2つの初等学校(ジャナタ・シクシャン・サンスタ校、ピワンディ・ニザンプール・マハナガールパリカ校)の児童約1000人に寄贈しました。詳細は、活動冊子『Design for SDGs 2019』(日本語版・英

インド衛生環境改善の絵本を寄贈

語版)にまとめています。SDGs Design International Awardsの開催決定は、SDGsデザインユニットでは、令和元年度新事業として、本邦初となるSDGsデザイン国際賞「SDGs Design International Design Awards 2019」の開催を決定しました。国連は、2016年から2030年までの期間に、世界規模で進行する貧困、飢餓、エネルギー供給、気候変動、環境保全、男女平等、ジェンダー不均衡解決等の諸課題に対し持続可能な開発目標を17項目設定し、国連加盟国にその目標達成を呼びかけています。SDGsデザインユニットでは、この国連の行動計

画(アジェンダ)に共鳴するために、デザインの力によってこれらの課題に挑むSDGsデザイン国際賞を設立しました。

今後の社会を変革できるデザインに関心のある世界中の学生を対象に、(1)「自然災害による被害の対策につなげるデザイン」(2)「美しい海の豊かさを守るためのデザイン」(3)「民族、国籍、年齢を超えて多様な人が共生するためのデザイン」という3つの募集テーマに沿ってデザインを公募し、その中から優れたアイデアを表彰します。この国際賞を通して、斬新なデザイン・アイデアの創出と共有を積極的に推し進めたい考えです。

デザインユニット長からの一言

私たちはこの度、九州大学が主催する「SDGs Design International Awards 2019」を設立しました。人類の課題にデザインで解決しようという熱い思いを持った世界中の学生の皆さんの参加をお待ちしています。令和元年度、SDGsデザインユニットは事業2期目に入ります。前年度の活動成果を踏まえ、今期もさらなる活動の発展に向けまい進したいと思ひます。

井上 滋樹
Mail:s-inoue@design.kyushu-u.ac.jp

Information
SDGs Design International Awards 公式サイト
https://www.sdgs.design.kyushu-u.ac.jp/awards/



記者会見の様子



テープカットの様子



開所後の施設見学の様子

「先進電気推進飛行体研究センター」開所
「空飛ぶ車」や
「電動航空機」の開発へ!!

システム情報科学研究院長
白谷 正治 しらたに まさはる
九州大学先進電気推進飛行体研究センター長
システム情報科学研究院 教授
岩熊 成卓 いわくま まさたか

先進電気推進飛行体
研究センターについて

「先進電気推進飛行体研究センター」は、平成31年4月にシステム情報科学研究院附属施設として設置されました。本センターでは、航空機の電気推進化と空飛ぶ車の実現を目指すとともに、これらが産業・社会へ与える波及効果の見える化と新規産業創生の推進・普及これらの新規産業を担う人材の育成を行います。

近年の地球環境保全の社会的ニーズに呼応して航空機の低エミッション化(有害物質の低排出化、高効率化が要求されています。ICAO (International Civil Aviation Organization : 国連の専門機関、190カ国が参加)では、全航空機のCO₂排出量を2050年までに2005年の半分にすることが議決されています。しかし、現行のジェットエンジンは、すでに十二分に高効率化が図られ、技術的には飽和しており、さらなる高効率化のためには新たな技術革新が必要とされています。その最有力候補が電気推進化です。一方、「空の移動革命」をうたい、



センター長からの一言

新幹線並みの高速移動が可能な空飛ぶ車
が実現すると、これまでのライフスタイルは
一変します。そのような新しい社会、イノー
ベーションを目指し、先進電気推進飛行体研
究センターでは、航空機の電気推進化、空
飛ぶ車の研究開発を世界に先駆けて行い
ます。

問い合わせ先 先進電気推進飛行体研究センター
TEL:092-802-3845



記者会見の様子

今後予定しているネーミングライツ対象スペース

団地名(キャンパス名)	施設名	対象スペースの用途
伊都	①総合体育館	体育室
	②小体育館	アリーナ
	③大講義室I	学生サロン
	④ウエスト1号館	情報学習室
	⑤ウエスト4号館	情報学習室
	⑥ウエスト5号館	情報学習室
馬出	体育館	体育室
塩原(大橋)	体育館	体育室



③学生サロンの様子



②アリーナの様子



安浦理事・副学長からの一言

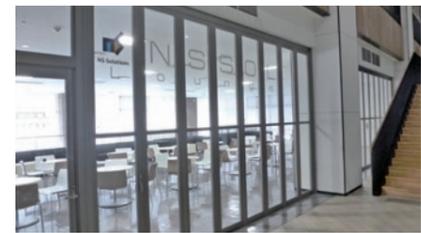
ネーミングライツは、公募を経て本学の施設やスペースに愛称を設定することで、当該施設等及び命名権者様の知名度の向上を図り、それにより本学及び地域の活性化に貢献することに加え、民間事業者と連携の機会を促進するものです。是非、九州大学と手を取り合い、世界に目を向け、学生の未来と夢を育てる事業にお力添えをしていただける方の参画を心よりお待ちしております。

問い合わせ先
(制度に関すること) 財務部財務企画課 TEL:092-802-2335
(パートナーの選定に関すること) 施設部施設企画課 TEL:092-802-2044

Information
ネーミングライツについて(九州大学HP)
<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/approach/naming>

ネーミングライツパートナー
第一号決定!!
ネーミングライツ、
体育館や
学生サロン等に
募集拡大

理事・副学長
安浦 寛人 やすらひろと



NSSL lounge

九州大学初となる
ネーミングライツ!!
「NSSL Lounge」が
九州大学と日鉄ソリューションズ株式会社(NSSL)は、平成31年3月20日(水)に九州大学初となる大学施設のネーミングライツ(施設命名権)取得に関する契約を締結しました。本契約により、平成31年4月から令和3年3月までの期間、伊都キャンパスウエスト2号館2階にあるガラス貼りの情報学習室(東)が「NSSL Lounge」と呼

称されます。
NSSL Lounge では普段から学生が自習室として利用している他、友人や教職員との交流や、勉強や研究の合間の休憩室としても利用しており、九州大学とNSSLは、「NSSL Lounge」の愛称名が多くの学生に親しまれて定着するよう努めるとともに、契約による収入により快適な教育研究環境の一層の充実に取り組むこととしています。

ネーミングライツの募集を、各キャンパス体育館や学生サロン等に拡大
さらなる取り組みとして、今後は、伊都キャンパスを含む各キャンパスの体育館内にあるアリーナ(球技スペース)、トレーニング室、情報学習室(自習室)及び学生サロン(休憩室)についてもネーミングライツ対象施設として募集を拡大していく予定です。

TOPICS
03 **オンデマンド学内バス「aimo」出発式を実施**

2019年4月2日(火)、本学および株式会社NTTドコモがセレモニーを行い、「AI運行バス」の仕組みを活用したオンデマンド学内バス「aimo(アイモ)」を全国で初めて本格導入することを発表しました。

セレモニーで久保総長は、本学が教育・研究の場のみにとどまらず、これからの社会における様々な課題を解決するための実証実験の場として貢献していくこと、そしてaimoが本学の学生と教職員の交通手段の1つとして機能するとともに、交通の課題をかかえる全国各地において、課題解決の一助となることへの期待を述べました。

なお、aimoの本格導入は、2016年7月

に本学と福岡市、NTTドコモら民間企業によって設立したスマートモビリティ推進コンソーシアムの一環として取り組んでき

た成果であり、本学が実証実験キャンパスを宣言して以降、本格的な社会実装事例の第1号です。



セレモニーの様子(左から光山裕朗福岡副市長、NTTドコモ吉澤和弘社長、久保千春総長、安浦寛人理事・副学長)

TOPICS
04 **日本初のみちびき(準天頂衛星システム)を利用した案内ロボットで5Gを活用した実証実験を開始**

2019年3月19日(火)に、本学は株式会社リビングロボット、ハウステンボス株式会社、および株式会社NTTドコモ九州支社との共同による、みちびき(準天頂衛星システム)を利用した案内ロボットで、第5世代移動通信方式(5G)を用いた実証実験を伊都キャンパスで実施しました。

本学とリビングロボットが開発したこの案内ロボットは、みちびきのセンチメートル級測位補強サービスCLASを利用した

日本初となる屋外サービスロボットです。本実証実験では、案内ロボットサービス提供に必要な遠隔監視や、ロボットに搭載した全方位4Kカメラによる映像の取得とロボットの遠隔制御を、5Gを通じて実現しました。

また、全周レーザーセンサーを搭載した車いすロボットは、レーザーセンサーで取得した大量の点群データを5Gで遠隔にあるPCに送信し、高速に処理されたデータを使って車いすロボットを誘導

します。これにより、テーマパークといった広大な園内や街中の案内や巡回監視の自動化、遠隔地から街中を自由に散策できる分身ロボット、移動困難者に対する自動運転パーソナルモビリティビークル(1人乗りコンパクト移動支援機器)としての利用が期待できます。

本実証実験を通じて得られた結果をもとに、ロボットの改善を図り、今後はハウステンボスでの実証実験を開始する予定です。



記者会見の様子(左から安浦理事・副学長、川内康裕株式会社リビングロボット代表取締役、山崎拓株式会社NTTドコモ執行役員九州支社長、高田孝太郎ハウステンボス株式会社広報責任者)



みちびき(準天頂衛星システム)を利用した案内ロボットによる園内案内実験



5Gを用いた全周レーザーセンサーによる車いすロボットの誘導実験

TOPICS
01 **2019年度開学記念式典を挙行政**

本学は、5月11日を「本学記念日」とし、例年、開学記念行事を開催しています。今年は、2019年5月13日(月)に伊都キャンパスの椎木講堂で開学記念式典を挙行政し、招待者や学内外の関係者約200名が出席しました。

式典では、久保総長から、本学の現状や最近の取組の紹介があった後、本学に多大な貢献をいただいた方への感謝状の贈呈、名誉教授への称号記の授与、本学基金による代表的な支援助成事業である「山川賞」を受賞した学生2名の発表を行いました。

続く記念講演会では、大学院工学研究院の安達千波矢教授から「革新的な有機発光デバイスの誕生から大学発ベンチャーへ -無限に広がる新しい分子設計への挑戦と新産業創出へ-」と題した講演があり、参加者は有機光エレクト

ロニクス研究センターでの画期的な発光材料の創出についての興味深い話に聞き入っていました。

講演会終了後に日本ジョナサン・KS・チョイ文化館で開催された懇談会では、ジャグリング部によるパフォーマンスが披露されるなど、盛会のうちに終了しました。



式典で挨拶をする久保総長



安達千波矢教授による記念講演の様子

なお、開学記念行事の一環として、各キャンパスで17の学内施設を公開し、一般の皆様に対して本学の最先端の教育研究内容を広く知っていただくためのイベントも開催しました。

TOPICS
02 **「国および県指定天然記念物 桜植樹式」を挙行政**

このたび、岐阜県および盛和塾桜の会の方より桜苗木をご寄贈いただきました。これらの苗木は、国の天然記念物に指定される推定樹齢1,500年を超えるとされる岐阜県本巣市根尾谷の「淡墨桜」、樹齢1,100年を超える高山市一之宮町にある「臥龍桜」や推定樹齢450年の高山市荘川町にある「荘川桜」と、樹齢1,800年ともいわれる山梨県北杜市武川町山高の「山高神代桜」です。

これを受け、2019年4月15日(月)、伊都キャンパスセンター2号館南側緑地で「国および県指定天然記念物桜植樹式」を挙行政しました。ご来賓として、岐阜県より桜苗木のご寄贈にご尽力いただきました盛和塾桜の会 寺岡直彦様、江崎雅教様、岐阜県議会議員 恩田佳幸様をお招きし、本学からは久保総長をはじめとする関係者約30名が出席しました。

式典では、久保総長より「ご寄贈いただいた桜は樹齢が長く、100年、200年と時を重ねるごとに大樹となり、学生・教職員や地域の人々に活気を与え、キャンパスに潤いをもたらしてくれ続けることを祈念しています」との挨拶があり、その

後、来賓者および久保総長による桜の植樹が行われました。学園通り線西側を中心に植えられています。

最後に、参加者全員で記念撮影を行い、植樹式は盛会のうちに終了しました。



参加者による記念写真



来賓者と久保総長による植樹(左から、久保総長、恩田様、江崎様、寺岡様)

受賞のお知らせ

平成31年度科学技術分野の
文部科学大臣表彰

科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、もって我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的として表彰するものです。

【科学技術賞研究部門】

内田 誠一

システム情報科学研究院 主幹教授
「文字パターンに関する包括的研究」

小川 佳宏

医学研究院 教授
「肥満に関連する生活習慣病の発症機構に関する研究」

柿本 浩一

応用力学研究所 教授
「結晶成長の大規模数値解析と半導体結晶の高品質化の研究」

古江 増隆

医学研究院 教授
「インターロイキン-31阻害によるアレルギー抑制の研究」

肥山 詠美子

理学研究院 教授
「量子少数多体系の厳密計算理論の確立とその応用研究」

【若手科学者賞】

尾崎 省吾

薬学研究院 准教授
「細菌増殖を制御する細胞内シグナリングに関する基盤研究」

嘉部 量太

最先端有機光エレクトロニクス研究センター 助教
「有機蓄光の研究」

神山 直之

マス・フォア・インダストリ研究所 准教授
「社会システムデザインに潜む離散構造とその応用に関する研究」

河村 彰星

システム情報科学研究院 准教授
「計算量理論を離散から連続の世界へ拡張する研究」

富田 健太郎

総合理工学研究院 助教
「次世代半導体露光光源用プラズマの構造解明に関する研究」

東川 甲平

システム情報科学研究院 准教授
「高温超伝導線材の特性解明と応用化技術に関する研究」

山内 由紀子

システム情報科学研究院 准教授
「自律分散計算の理論とアルゴリズムの研究」

弓本 桂也

応用力学研究所 准教授
「データ同化によるエアロゾル数値予測の高度化に関する研究」

渡邊 賢

総合理工学研究院 准教授
「混合導電性を用いた酸素分離デバイスに関する研究」

渡邊 源規

カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 准教授
「有機・無機ハイブリッド光触媒による光水分解に関する研究」

2019年春の叙勲

【教育研究功労】

瑞宝中綬章

井本 泰治

九州大学名誉教授(業)

【文部行政事務功労】

瑞宝中綬章

早田 憲治

元九州大学事務局長

TOPICS
05

「先生の森特別編～出張講座～」を文部科学省にて開催

2019年2月15日(金)から3月25日(月)の間、文部科学省新庁舎2階エントランスで開催していました本学企画展示「未来の社会がここにある～九州大学の魅力～」に関連するイベント「先生の森特別編～出張講座～」を3月12日(火)に文部科学省旧館1Fラウンジで開講しました。

講座前半は、水素エネルギー国際研究センターの佐々木一成センター長が『燃

やさないエネルギーで世界を変える!!』と題し、脱炭素社会に向けた水素エネルギーの現状と将来展望について福岡および本学における事例を紹介しつつ講演しました。

後半は五感応用デバイス研究開発センターの都甲潔特任教授が『「味と匂いの見える化」で新しい世界を創造する!』と題し、センターのオンリーワン、ナンバーワン

の技術である味覚センサや、身の回りの匂いや呼気を検知し、快適さや病気を判定する最新の匂いセンサについて講演しました。

講座には原田義昭環境大臣や、本学前総長の有川節夫放送大学学園理事長をはじめ東京同窓会の皆さまなど、約70人にご参加いただき、盛会のうちに終了しました。



佐々木一成水素エネルギー国際研究センター長



都甲潔五感応用デバイス研究開発センター特任教授



原田義昭環境大臣(右)と佐々木一成センター長(左)

TOPICS
06

福岡県主催のインダストリアルツアーで本学を視察

2019年3月7日(木)、福岡県主催のインダストリアルツアーが開催され、小川洋知事、ベトナム社会主義共和国、中華人民共和国、オーストラリア、大韓民国、タイ王国の総領事、アメリカ合衆国の首席領事、国際連合人間居住計画(ハビタット)福岡本部長の方々が本学伊都キャンパスを視察されました。

これは、福岡県と本学が連携して取り組んでいる、水素エネルギーや有機光エレ

クトロニクスなどの最先端技術について、海外の方々の理解を深めていただくことを目的として開催されたものです。

本学のツアーでは、伊都キャンパスの日本ジョナサン・KS・チョイ文化館で久保千春総長から挨拶を行った後、水素エネルギー国際研究センター、最先端有機光エレクトロニクス研究センター(OPERA)を視察されました。

また視察後には、椎木講堂で糸島市

の月形市長、本学からは安浦寛人理事・副学長や、水素エネルギー国際研究センター長である佐々木一成副学長が出席して意見交換会が行われました。その中で小川知事は、「この地域のさまざまな魅力と人々のエネルギーを感じ取っていただき、皆さまのお国の一人でも多くの方に本県の魅力をぜひお伝えください」とアピールされていました。



佐々木水素エネルギー国際研究センター長から説明を受けるインダストリアルツアー参加の方々



OPERAの安達センター長、外国人研究者も交えて記念撮影

水野 愛理 水野 裕子 溝上 展也 溝口 英司 光岡 正浩 南 典文 峰 渉磨 峯松 成充 耳井 紀史 宮田 寿望 宮村 知也 宮本 和良 宮本 隆良 三好 宣彰 六車 凌 村上 則夫 村上 千夏 毛利 喜信 持松 佑紀 本松 武 本山 則夫 茂貫 尚子 森 和代 森 英樹 守田 俊一 森田 太智 柳ヶ瀬 照子 矢野 弘訓 山口 聖司 山口 辰徳 山崎 桂一郎 山崎 健治 山崎 信行 山下 力 山下 剛 山田 浩文 山田 里司



椎木講堂

九州大学基金

—未来を切り拓くリーダーの育成—



寄附者ご芳名

九州大学基金の趣旨にご賛同いただき、多大なご支援を賜り、誠にありがとうございます。本号では、平成30年1月14日から平成31年4月5日までに寄附申し込みいただいた皆様のご芳名(五十音順・敬称略)を掲載させていただきます。今後とも九州大学基金をよろしくお願ひ申し上げます。

支援者の皆様

企業・団体など

周船寺商工連合会
有限会社甲山商店
元岡商工連合会
株式会社山水荘
末松建具店
そうごう薬局周船寺店
有限会社福岡紙業
福岡県宅地建物取引業協会
福岡西支部
坂本産業不動産部
株式会社ハピネス
株式会社保利建設社
石井歯科医院
医療法人田中歯科医院
株式会社小野原製茶問屋
九州大学農学部同窓会
協立エアテック株式会社
合同会社ケイエムシー
笹田磁気計測研究所
株式会社
公益財団法人吉田育英会
ほか 匿名希望3社
(計20企業・団体)

個人

合六 雅亮
阿尾 安泰
青木 孝夫
青木 俊憲
秋穂 裕唯
上森 大暉

山野 南人 山本 恭平 山本 誠二 山本 英孝 山本 裕治 山本 洋子 山本 順正 湯浅 和也 行武 裕喜 湯上 信秋 横山 昌幸 横山 嘉秋 吉岡 慶大 吉川 雅紀 吉国 純子 吉田 修司 吉田 憲久 吉田 陽子 吉武 考三郎 吉永 信秀 吉野 恵子 吉光 知里 米満 智博 力山 聡美 Robert Huang 渡邊 さゆり 渡部 由美子 ほか 匿名希望 223名 (計516名)

お問い合わせ 九州大学総務部同窓生・基金課

〒819-0395 福岡市西区元岡744
TEL:092-802-2150
E-mail:k-kikin@jimu.kyushu-u.ac.jp
Webサイト:http://kikin.kyushu-u.ac.jp/

本年4月に発行しました114号の寄附者ご芳名において誤りがございました。寄附者である「はごぎきの写真屋テクニカ」のお名前は、正しくは『はごぎきのしゃん屋テクニカ』です。以上のように訂正し、ここに謹んでお詫び申し上げます。

山川賞 採択者の声

英国留学で見聞を広げる

長期留学を開始する前に、日本の法律の基礎を築くために、「会社法」「民事訴訟法」「刑事訴訟法」など法曹コースにも必要となる授業を履修しました。また「民法」の知識も怠らず、契約からさらに発展した担保物権、保障など、ビジネスに関わる法実務についても知識をつけました。

さらに、3年次から2つの高年次ゼミが始まり、まず「比較法演習」においては、最高裁判事例を扱いつつながら、ドイツ・フランスとの比較法的観点も踏まえたアプローチの方法を学び、また、「国際取引法演習」においては、国際商事契約原則を用いて、実践的な交渉術を磨くことができました。以

法学部4年 ^{きむら まこと} 木村 真琴 (平成29年度受賞)

上2つのゼミでの活動を通し、山川賞の時にお話しさせていただきました「法律を英語で運用できる力」そして「世界に通用する国際交渉力」を培うための努力をしております。

私は今、3年次後期から英国ロンドン大学・東洋アフリカ研究学院 (School of Oriental and African Studies, University of London) にて長期留学を開始し、法律・国際関係・開発学など多岐にわたり見聞を広げております。単なる学業だけでなく、英国での法律事務所インターンに参加することも考えており、九大生、そして山川賞受賞者として恥じぬよう、今後の学生生活を送っていくつもりです。



英国式学術英語を教えていただいた教授と一緒に (中央が本人)



フラットメイト(部屋などを共有する仲間)に日本の手巻き寿司をふるまう(右端が本人)

浅井 享 浅尾 秀一郎 麻生 政昭 穴井 リツ子 阿部 美咲 有村 秀一郎 粟田 里織 安藤 佐知子 井浦 清二 井川 知子 池田 傑 池田 浩之 石井 文香 石原 あゆみ 石丸 稔基 井手 裕二 伊藤 生暁 伊東 照洋 井戸川 輝喜 井戸川 倫子 井上 修平 井ノ坂 泰生 指宿 安広 岩本 英樹 植木 慈 植木 幸子 上里 彩笑 上野 将嗣 上野 公俊 上間 直樹 内田 一徳 内田 浩充 内海 泰弘 内木 元香 鶴木 陽子 鶴木 勢司

梅田 慎治 江口 登美雄 海老井 悦子 太田 光義 大塚 正秋 大槻 浩二 大家 光太郎 大家 理哉 岡 健太郎 緒方 一夫 緒方 一樹 岡田 鉄太 緒方 宏信 岡部 卓朗 小川 知子 奥村 幸夫 尾関 勉 小田 克己 小田 惣一朗 小田 悠一朗 落合 秀明 落合 啓之 小山田 恵美 甲斐 雅之 柿本 和枝 笠屋 千晶 加嶋 晃成 鹿島 志奈乃 梶山 千鶴子 柏木 悠司 柏崎 晴彦 梶原 啓子 加世田 俊一 香月 君則 加藤 日出夫 加藤 仁美 加藤 博明 加藤 弘司

金子 修三 金丸 敬子 上家 敏男 川浦 幸治 河邊 佳典 岸川 啓介 喜多 恭子 喜多 恵子 北川 稜来 城戸 正詩 喜屋武 浩 國枝 正 國久保 浩二 國武 豊喜 久保田 祐信 黒木 あけみ 黒木 博 黒木 信太郎 小池 佐知子 小出 太郎 河本 祐一 小島 友幸 児玉 勇 後藤 純 後藤 優子 木庭 義則 小林 寛郎 近藤 恵子 齋藤 節夫 齋藤 友雅 齋藤 靖 三枝 僚 坂口 賢史 阪本 尋志 佐久間 智子 佐々木 裕之 佐々木 康

佐藤 信一 佐藤 敏明 佐藤 弘明 佐藤 匡央 里山 俊哉 澤本 快 潮崎 智美 鹿田 悠真 島崎 洋平 清水 議章 周詞 香容 白石 健 白石 隆一郎 白川 博之 白水 功士 白崎 哲哉 白本 知大 新貝 敏憲 鈴木 浩二 鈴木 千代志 鈴木 芳与 須田 康秀 芹口 和久 外垣 誠治 曾根崎 和夫 園元 謙二 大長 和保 高石 雅明 高木 幹也 高瀬 佳奈 高橋 晶子 武井 依津子 武田 明子 多々良 一郎 立川 秀宣 田中 節男 谷川 雅一

田原 健 田村 貴司 田村 正治 塚本 成男 出崎 洋介 寺下 哲也 徳永 雅久 戸島 信一 富崎 栄二 富田 浩史 富松 一隆 長尾 貴史 長寄 真由美 長澤 一成 長田 裕司 長野 義久 中原 征彦 永松 薫 永水 伸一 中村 邦喜 中村 さとみ 中村 匡利 仲山 隆一 椰原 憲治 名倉 基充 鍋島 馨 成枝 宏入 二階 哲朗 西木 一夫 西木 清美 西澤 圭一 西嶋 克豊 西田 真三 西谷 聡 西村 順一 西村 尚朋 二宮 誠

野添 徹 橋本 文博 長谷川 栄光子 島山 昌憲 濱田 孝 浜野 晃正 林 省龍 原 佳宏 服藤 憲司 東 ゆみ 久門 尚史 日高 照幸 平川 美晴 平田 周諭 平田 博巳 平信 愛彦 福田 光博 福永 修三 藤井 拓 藤井 真由美 藤田 敏之 古村 由美子 豊東 翼 北條 孝明 前岡 誠 曲田 幸生 増田 克明 榎富 一之 松井 忠司 松尾 久人 松熊 功 松田 健 松永 浩史 間宮 康太 丸山 隆一郎 水川 秀久

同窓会に行こう

九州大学同窓会連合会は、部局別同窓会と地域別同窓会の連合体組織として、同窓会の横断的な活動や組織作りを支援し、同窓生相互の交流と親睦を深めるとともに、九州大学と同窓生の情報交換や連携協力を緊密にし、九州大学の発展と学術の振興に貢献することを目的として活動しています。

会員同窓会からのお知らせ

理学部同窓会

〈連絡先〉事務局 酒井淑子
Tel: 092-802-4034 Fax: 092-802-4034
Email: ridousou@sci.kyushu-u.ac.jp

理学部同窓会では毎年4年生の成績上位者を表彰しております。詳細は下記ウェブサイトをご覧ください。また、今年度は同窓会名簿第28号の発行を予定しております。より正確な名簿の作成ができますよう登録情報確認カードのご返信にご協力をどうぞよろしくお願い致します。
http://alumni.sci.kyushu-u.ac.jp/

医学部同窓会

〈連絡先〉事務局 前山俊治
Tel: 092-642-6893 Fax: 092-642-6258
Email: dosokai@doso.med.kyushu-u.ac.jp

医学部同窓会では年4回、会誌「学士鍋」を発行し、6月と12月に代議員会、6月に総会を開催しています。また、卒業式に引き続いて同窓会入会歓迎会「学士鍋」を開催し、教員・同窓生で盛大に卒業を祝っています。

歯学部同窓会

〈連絡先〉事務局 五藤
Tel: 092-642-6245 Fax: 092-642-6245
Email: dousojim@dent.kyushu-u.ac.jp

同窓会員として歯学部同窓会主催の講演会やセミナーへの参加をお待ちしております。詳細はホームページでご確認ください。
http://kyudai-dent-doso.com/

薬学部同窓会(薬友会)

〈連絡先〉薬学研究院薬物動態学分野 廣田豪
Tel: 092-642-6658 Fax: 092-642-6660
Email: yakuyu@phar.kyushu-u.ac.jp

薬友会は、多数の地方支部を持つ薬学部同窓会の貴重な情報交換の場です。また、会員のみ利用可能な薬友会ホームページは、懐かしい再会や新しい出会いの場として利用されています。是非、薬友会にご入会ください。

同窓会の開催情報はこちらへ!

九州大学同窓会連合会ウェブサイト
http://doso-rengo.jimu.kyushu-u.ac.jp/

九州大学同窓会連合会

検索



九州大学アカデミックフェスティバル 2019

2019年10月19日(土)開催!

会場

〒819-0395 福岡市西区元岡744
伊都キャンパス 椎木講堂等



将来の夢を切り拓く“高大連携”

「世界に羽ばたく高校生の成果発表会」

お問合せ 担当:学務部学務企画課企画調査係
TEL:092-802-5811



九州大学の“今”がよくわかるトークショー

「福岡はすごい」著者の牧野洋さん(フリーランスジャーナリスト兼翻訳家)も登壇!

お問合せ 担当:総務部同窓生・基金課同窓生連携係
TEL:092-802-2158



URL: https://kikin.kyushu-u.ac.jp/academic_festival/

九州大学アカデミックフェスティバル

検索

※各イベントの内容は随時変更されることがありますので、ご了承ください。

課外活動支援 採択者の声

トライアスロン部 (平成30年度採択)

課外活動支援を受け、練習時に使用する固定ローラー、三本ローラー、女子部員が使用できる女性用ロードバイク、大会時に荷物保管や着替え用としてテントを購入いただきました。今回のご支援により部員の練習の質を大きく向上させることができました。部員一同、心より感謝申し上げます。

当部は、昨今の個々の成績向上に伴い部員が男女共に著しく増加し、現在総勢54名で活動しています。部員増加により練習器具が不足し、特に雨期や冬季でロードバイクを漕ぐに危険な日にも行うことができる固定ローラーや、三本ローラーを使った屋内トレーニングでは、満足に練習ができない状況にありました。また、トライアスロンは費用の掛かるスポーツであるため、新入生には部が所有するロードバイクを貸し出しておりましたが、女子部員の増加に伴って女子が乗れる小型のロードバイクが不足し問題となっていました。今回の支援で新たに備品を購入していただいたことで、部員の練習の幅も広がり、活動環境が大きく改善されました。

もうすぐ大会シーズンに入り、全国各地への練習も増えてまいります。各々の目標達成はもちろんのこと、チーム全体としての目標も達成するべく、部員一同さらなる飛躍に向けて活動に熱を上げております。

最後になりましたが、このたびの支援助成について重ねてお礼を申し上げますとともに、当部はこれからも日々活動に邁進していく所存ですので、今後ともご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



女性用ロードバイク(一番奥)、固定ローラーを使った練習風景



長崎西海トライアスロンで、学生の部(女子)で入賞した当部員3名

九大会員の皆様へ ~特典のご案内~

九州国立博物館
Webサイト <https://www.kyuhaku.jp/>

会員特典 文化交流展示室(平常展)観覧料:
九大会員(大人)料金 350円 [通常料金 430円]
九大会員(大学生)料金 100円 [通常料金 130円]

特典有効範囲 九大会員本人

ご注意事項 ※窓口で九大会員証を提示し、特典を利用する旨を申し出てください。
※九大会員で大学生は、九大会員証と学生証と一緒に提示し、特典を利用する旨を申し出てください。

Green House レストラン グリーンハウス [九州国立博物館隣接]
Webサイト <http://www.kys-newotani.co.jp/hakata/restaurant/branch-shop/>

会員特典 レストランまたはカフェご利用時にご飲食代金から10%オフ

特典有効範囲 九大会員本人を含む5名までご利用可

ご注意事項 ※会計時に九大会員証を提示し、特典を利用する旨を申し出てください。

だざいふ遊園地 だざいふ遊園地
Webサイト <http://www.dazaifuyuenchi.com/>

会員特典 入園料(個人料金)から100円引き

特典有効範囲 九大会員本人を含む5名までご利用可

ご注意事項 ※会計時に九大会員証を提示し、特典を利用する旨を申し出てください。
※身障者、一般団体及び学校団体の入園料からは特典適応外。

各特典については、ご利用条件などをご確認の上ご利用ください。このほかにも多くの特典をご用意していますので、ぜひご入会いただきますようお願い申し上げます。

九州大学基金・
九大会員に関する
お問い合わせはこちら

九州大学総務部同窓生・基金課
〒819-0395 福岡市西区元岡744 TEL:092-802-2150
E-mail:k-kikin@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学基金Webサイト
九州大学基金
<https://kikin.kyushu-u.ac.jp/>





平成30年度文学部同窓会総会

文学部同窓会総会は、平成30年11月3日(土)に伊都キャンパス榎木講堂で、文学部との共催により行われました。船津正明会長(昭和37年卒)と佐伯弘次文学部長・名誉会長(昭和53年卒)の挨拶で始まり、平成29年度の事業や決算などの報告と平成30年度の事業計画などの提案が行われ、承認されました。また8年間会長を務められた船津会長が任期満了によりご退任となり、倉富史枝(昭和55年卒)氏が次期会長に推薦され、承認されました。

文学部同窓会では、在校生の研究活動を支援するため、同窓会奨学会奨励金の制度を設けており、今年度は優秀研究賞が8名に、優秀活動賞が1団体に

それぞれ授与され、受賞者から研究・活動計画の発表がありました。

今回は、同窓生の皆様对新キャンパスをお披露目するため、新中央図書館とイースト1号館の見学ツアーが行われたほか、イトリイイトでの懇親会終了後に、バスで広大な伊都キャンパスを巡り、途中「九州大吟醸」を製造する杉能舎にも立ち寄り、老舗の味を堪能いたしました。

なお令和元年度総会は10月5日(土)に開催を予定しております。



倉富史枝次期会長の挨拶



杉能舎にて

文学部同窓会副会長 遠城明雄(平成元年・文学研究科修了)
 (連絡先)文学部同窓会事務局 TEL:092-807-4066 E-mail:bundo@lit.kyushu-u.ac.jp

松の実会

2019年2月10日(日)、福岡市の八仙閣本店において松の実会総会・講演会・懇親会を開催いたしました。

総会では、海老井悦子会長(昭和44年・文学部卒)より挨拶がなされ、引き続き行われた審議では、事業報告、会計報告、事業計画について、いずれも承認されました。また今年度もついで、文学部担当理事から薬学部担当理事へバトンタッチされることから、今期理事の退任挨拶とともに、薬学部新理事の紹介が行われました。

今年の講演会は、時田真弓様(平成26年・21世紀プログラム卒)より、「がんに負けない・メデアの目線を通した患者アドボカシー」というテーマで貴重なお話をいただきました。在学生からの関心の歴史、またその後の社会貢献活動のお話は、若年層の心揺り動かす内容でした。

懇親会では、まず来賓の九州大学理事・山縣由美子様より大きな伊都キャンパスについて映像とともにご紹介いただきました。その後、福岡同窓会会長貫正義様(昭和43年・経済学部卒)の乾杯のご発声により華やかに開会いたしました。キャンパス移動後の節目にあたっていたこともあり、理事有志で作成した箱崎キャンパスの歴史、建物を振り返るスライドショーを上映し、その後の思い出についてスピーチをいただき、みんなで懐かしい思い出を共有いたしました。

美味しい中華料理をいただきながら、素敵な時間はあっという間に過ぎてしまい、最後に学生歌「松原に」をみんなで斉唱いたしました。今回は、松の実会の運営の在り方などアンケート調査も実施するなど、松の実会のさらなる発展へ向けて前進した一日となりました。



時田真弓様のご講演



箱崎キャンパススライドショー

山下亜紀子(平成6年・文学部卒) (連絡先)九州大学女子卒業生の会「松の実会」事務局 E-mail:matunomi@abelia.ocn.ne.jp

マンドリンクラブ同窓会

九州大学マンドリンクラブOB・OGによる台湾演奏旅行が平成31年3月11日(月)〜17日(日)に行われ、当クラブOB・OG総勢20名が参加しました。台湾各地で演奏し、現地の奏者の方々と交流を深めました。

初めの3日間は台中の埔里に滞在し、台湾のマンドリン奏者の黄舒彌さんにも参加していただき、紙教会での演奏や台日親善感恩交流音楽会への参加、国民中学校での演奏を行いました。中学校では原住民の子供達が歌と踊りを披露してください、交流を深めました。

その後は台南に移動し、奇美博物館内のホールで行われた演奏会に参加しました。奇美マ

ンドリン楽団A団との合同演奏では、言語の壁に直面し苦労することも多くありました。しかしその分同じ音楽を共有できた時の感動はとて大きく、素晴らしい経験ができたと思っています。

九大マンドリンクラブOB・OGは10年前から台湾での演奏旅行を行っており、現地の方々との交流を築いてきました。今回は10年目という節目であり、また東日本大震災の際に多大な支援をしていただいた台湾の方々への感謝の気持ちを伝えたいという思いから計画されたものでした。今後も音楽を通してこのような交流を深めていきたいと思っています。



紙教会での演奏の様子



博物館での演奏会舞台裏

栗原 楓(数理学府修士2年) (連絡先)同窓会事務局 淵上慎一(事務局長) E-mail:fichigami41@globe.ocn.ne.jp

ひむか松原会 設立総会及び懇親会

平成31年4月13日(土) ひむか松原会の設立総会・懇親会を開催致しました。

本会は、宮崎県北部の日向市近郊に居住または就業している九州大学卒業生を中心として、九州大学にゆかりのある人を有資格者として設立されました。

昨年1月の発起人の設立提案に始まり、昨年11月から6ヶ月の準備活動を経て設立にこぎ着けました。

設立総会は、日向市の日向第一ホテルにて、案内が2週間前と短かったにもかかわらず会員数22名の内、12名の出席を得て始まりました。

総会は、発起人の黒木和憲氏(平成16年、理学部大学院卒)の司会のもと、発起人会長の水永正憲氏(昭和46年、法学部卒)を議長に選出し、議事録作成人は事務局 署名人は、大石真一氏(昭和57年、工学部卒)と中山浩章氏(昭和62年、工学部卒)を指名し下記の議案が承認されました。

議案第1号 ひむか松原会会則(案)について
 議案第2号 2019年度役員(案)について
 議案第3号 2019年度事業計画(案)について
 議案第4号 2019年度収支予算(案)について
 議案第5号 九州大学同窓会連合会加入について

設立総会にあたり、引き続き行われた、懇親会では、会員の家族も参加し、久保千春総長からのメッセージの紹介と代読がなされ、会員の自己紹介や伊都キャンパスの動画上映による現在の九州大学の紹介が行われました。

また、総会、懇親会を通じて、事業活動について多くの意見がだされ、今後の会の活動についても充実した議論がなされました。九州大学卒業生という連帯感のなかで和気藹々とした楽しい雰囲気の中で時間を過ごすことができ、感動を共有して終了できたと感じています。

今後、総会、懇親会の議論を踏まえ、会員の親睦・交流・九州大学への貢献のみならず、当面「人生100年時代を生きる」をテーマとした社会的活動を推進し、会員の「やりがい、生きがい」も模索していきます。

末尾になりますが、今回の同窓会設立については、九州大学同窓会連合会の事務局の方々に大変お世話になりました。ここに、感謝を申し上げます。



設立の趣旨説明をする水永正憲会長



懇親会終了後の集合写真

ひむか松原会代表幹事 柏田直俊(昭和48年・理学部卒) (連絡先)E-mail:kashiwada.n@gmail.com

※本年4月に発行しました114号の会員同窓会からのお知らせに誤りがございました。教育学部同窓会(鴻臚会)の連絡先電話番号及びFAX番号は、

正しくは092-802-5233(電話番号)及び092-802-5233(FAX番号)です。以上のように訂正し、ここに謹んでお詫び申し上げます。

九州大学 オープンキャンパス 2019

8月 3日(土)

伊都キャンパス
・共創学部 ・文学部 ・教育学部
・法学部 ・経済学部

4日(日)

伊都キャンパス 大橋キャンパス
・共創学部 ・理学部 ・芸術工学部
・工学部 ・農学部

5日(月)

病院キャンパス
・医学部 ・歯学部 ・薬学部



詳細は決定次第、Webサイトに掲載しますので随時ご覧ください。
(6月以降順次掲載予定)
<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admission/opencampus/>



お問い合わせ先 九州大学学務部入試課 〒819-0395 福岡市西区元岡744 TEL 092-802-2007 E-mail aojimu@jimukyushu-u.ac.jp

九州大学総合研究博物館 [ミュージアムレポート]

Kyushu University Museum Museum Report vol.17



ゾウムシとは甲虫の一群で、世界に10万種近くが知られていて、まだまだ多数の名もなき種が残されている動物界最大の分類群の一つです。一部は深刻な害虫としても知られています。多くの種は植物を食べ、森林生態系に重要な役割を担っています。

森本先生は日本産種の種名がほとんどわからない時代から、長年ゾウムシの分類学的研究を進めてこられ、700以上の新種を発表するとともに、日本産種の大部分を明らかにされました。森本先生の研究はそれだけにとどまらず、ゾウムシの進化に関する研究やその他の害虫に関するものにもおよび、その論文は世界中の研究者に引用されています。

九州大学退官後も研究を続けられ、近いうちに最難関とされるキクイゾウムシ類の大論文を発表される予定です。

1938年に高知県で生まれた森本先生は、九州大学進学直後からゾウムシの全般の研究を行うと決心されましたが、その際、農学部昆虫学教室初代教授の江崎梯三博士からは、あまりに壮大な夢だと一笑に付されたといえます。しかし上述のとおり、森本先生はその夢を現実のものにされました。その困難さと偉大な業績は、小文では到底説明できませんが、それを象徴するのが当館に移管・寄贈されたコレクションです。



「森本桂コレクションとゾウムシ学」

九州大学総合研究博物館では、2019年4月15日から8月30日まで、森本桂先生(九州大学名誉教授)のゾウムシ類の研究に焦点をあてた「森本桂コレクションとゾウムシ学」展を開催しています。



- 展示期間: 2019年4月15日~8月30日
- 場所: 箱崎キャンパス旧工学部本館3階常設展示室
- 時間: 平日10時~17時
- お問い合わせ先: 博物館事務室 092-642-4252

分類学の研究に必要なものは文献と標本です。しかし、森本先生が研究を始めた当初は、日本にはゾウムシの文献も標本もほとんどない。外国の文献を集めることは至難でした。そのような状況の中、先輩研究者から書籍を借りたり、私財を投じて購入したりし、血の滲むような思いで文献を収集されました。

また、標本は自ら全国をまわって採集し、同時に多くの昆虫収集家の手を借りて、集められました。結果、標本に関しては総数25万、文献ともども東洋一のゾウムシコレクションを築かれたのです。

数年前に病に倒れましたが、なおも研究を諦めないその姿勢には、ただただ頭が下がるばかりです。そしてこのご時世です。お金になる研究や目立つ研究者ばかりがもてはやされ、森本先生とご研究のようなものは、なかなか日の目を見ません。ましてや、世界中の博物館が欲しがってやまない東洋一のコレクションも、日本では一顧だにされません。本当に立派な研究者とはどういう人だろうか。本当に大切なモノとはなんだろうか。そんなことを考えていただきたく、本展示を企画しました。(丸山宗利)



展示の様子

九州大学 キャッチコピー 大募集!

2005年から始まった移転事業が完了。「常に未来の課題に挑戦する大学」として進化し続ける九州大学のブランドイメージをアピールし、国際的な認知度を高めるため、九州大学のキャッチコピーを募集します!

募集期間

2019年6月13日(木)~7月26日(金)

応募資格

在学生・卒業生・教員・職員

※個人・グループ不問。ただし連絡を迅速に取れる方に限る。

各賞

最優秀作品(副賞:ノートパソコン+商品券1万円分/1名)

優秀作品(副賞:スマートウォッチ+商品券3千円分/2~3名)

※賞品は変更になることがあります。

応募方法

特設webサイト(<https://catchcopy.kyushu-u.ac.jp>)から応募ください。

